

## 王安憶文学作品における上海語研究(6)

—『流逝』(その6)—

吉田陽子

『流逝』について(第5章50頁～第6章61頁)

頁-行	下線の語彙—上海語 ローマ字—上海語の発音	説明 (文章の翻訳)、(共通語)
50頁6行 (以下「50-6」 と略す)	“姆妈, 这话没什么 <u>讲头</u> 。眼下, 给妹妹看病是要紧的。” 姆妈(mǔ mā) mǎ 讲头(gǎndhóe)	(「お母さん、このような話をしても仕方がない。 今、義妹に病気を診てもらうのが一番大事なこと です。」) 姆妈:お母さん。姆妈=〈妈妈〉 讲头:話す価値の有無を表す際に使われる言 葉。没讲头=〈不值得讲〉
50-18、19	端丽要上班, <u>烧饭</u> , 洗衣, 还要 帮着劝慰文影, 忙得焦头烂额。 烧饭(sàováe)	(端麗は仕事をし、ご飯を作り、洗濯をするだけで なく、文影も慰めなければならないので、慌てふ ためいていた。) 烧饭:ご飯を作る。烧饭=〈做饭〉
50-25～27	母女三人叽叽呱呱谈了一夜, 什 么话都讲了, 连同多多他们夜里 讲的鬼故事都讲了。来来不能参 加很妒忌, 不时地说一声: “ <u>疯子</u> !” 讲(gān) 疯子(fònzǐ)	(母娘三人が一晩ベチャクチャ喋って、どんなこと でも話し、多多とクラスメートの、夜に話した幽霊 話も話してくれた。来来は、話しに入れなかった ので、やきもちをやいて、何度も「気違い!」と言 った。) 讲:話す。讲=〈说〉 疯子:気が狂った人。疯子=〈痴人〉
51-16、17	“进了医院, 要绑起来住橡皮房 间, 还要坐电椅, 没有 <u>毛病</u> 也要 作出病来了。” 毛病(máobhín) 作出(zokcek)	(「入院にしていまえば、縛られて壁がゴムでき ている部屋に入れられるだけでなく、電気の椅子 に座らされるので、病気がなくても、病気がある ようにさせられてしまう。」) 毛病:病気。毛病=〈病〉 作出:自分がしたことにより、悪い結果となってい まう、という表現。作出=〈弄出〉
51-20、21	我们宁波乡下有个 <u>花痴</u> , 什么药 也没吃, 结过婚以后好得 <u>清清爽爽</u> 。” 花痴(hòci) 清清爽爽(qīnqīnsānsān)	(「実家の寧波の田舎に頭のおかしい人がいた が、何の薬を飲まなくても、結婚したらきれいに治 った。」) 花痴:女性が男性に交際を断られた後、ショック のあまり、精神を病んでしまうことを指す。 花痴=〈情痴〉 清清爽爽:きれい(に)。清清爽爽=〈干干净净〉
51-25～52-3	“是的, 姆妈。再说有这种 <u>毛病</u> , <u>瞒人家</u> 是瞒不过去的, 不瞒人家	(「そうなんです。お母さん。その上、このような病 気は人に隠そうとしても隠し切れないが、隠さなか

	<p>吧，人家说不定……”文耀说完，就被母亲气汹汹地打断了： “所以要请你们哥哥嫂嫂帮忙呀！要你们来做啥？不就是想办法。文影会得嫁不出去？真是笑话了。”</p> <p>姆妈(m&lt; I 声)mà) 毛病(máobhín) 瞒人家(méunínkà) 做啥(zūshā) 会得(hhuédek)</p>	<p>ったら、人様に、ひよっとしたら…」と文耀がまだ言い終わっていないうちに、義母に鼻息荒く断ち切られて、「お前たちのような兄さん、姉さんに助けてもらいたいから頼んでいる。何のために来てもらっているの？アイデアを出してくれるのではないか。文影を嫁がせることができないなんて、冗談じゃない」と言った。）</p> <p>姆妈: 上記「50-6」に同じ。姆妈=〈妈妈〉 毛病: 上記「51-16、17」に同じ。毛病=〈病〉 瞒人家: 人に隠す。瞒人家=〈瞒别人〉 做啥: 何をするのか。做啥=〈干什么〉 会得: できる。会得=〈会〉</p>
52-4、5	<p>“嫁怎么会嫁不出去，总要找个靠得住人啊！”端丽打圆场，“姆妈，再让我们好好想一想，好吧？”</p> <p>姆妈(m&lt; I 声)mà)</p>	<p>(「嫁ごうと思ったら、嫁げないことはないが、信用のできる相手を見つけなければなりません」と、端麗はまるくおさめようとし、「お母さん、私たちにもう少しよく考えさせて頂けますか」と言った。)</p> <p>姆妈: 上記「50-6」に同じ。姆妈=〈妈妈〉</p>
52-9~12	<p>“怪谁?怪你姆妈老脑筋。有毛病不看，要结婚，自己要跌身价。”端丽没好气地说。 “姆妈活了六十多岁，会没有你我懂？进了精神病院，等于历史上有了一个污点。你懂吗？”文耀振振有词。</p> <p>姆妈(m&lt; I 声)mà) 毛病(máobhín)</p>	<p>(「誰のせいなの？義母さんの考えが古いせいですよ。病気があるのに診てもらわず、結婚させたいなんて、自分で身分を下げたいようなものだ」と、端麗はぶっきらぼうに言った。 「母は60年以上も生きてきたし、君や僕よりも分らないはずがない。精神病院に入れてしまったら、経歴に汚点ができちゃうのと同じことだ。分かるか?」と、文耀はまくし立てた。)</p> <p>姆妈: 上記「50-6」に同じ。姆妈=〈妈妈〉 毛病: 上記「51-16、17」に同じ。毛病=〈病〉</p>
52-15~19	<p>“动气了？”过了会儿，文耀不放心地问。 “没有。我在想，既然注定找乡下人了，总要找个好的。还有，能不能找个近处的，比如绍兴，昆山，结了婚以后还好调过来。离上海近，生活习惯好一点，也叫得应一点。”</p> <p>动气(dhónqī) 乡下人(xiànhhónín) 好(hāo) 叫得应(jiāodekyìn)</p>	<p>(「怒ったか?」と、暫く経つと文耀が心配そうに聞いた。 「そんな事ないわ。どうせ運命により田舎の人と結婚することが決まっているなら、立派な人を見つきたい。それと、近くの人を見つきたい。例えば、紹興、昆山の相手なら、結婚後そっちに移住することができる。上海に近くなるので、生活習慣も似ていて、何かあったら、呼べばすぐ来てくれる」と言った。)</p> <p>动气: 立腹する。动气=〈生气〉 乡下人: 田舎者。乡下人=〈乡下佬〉 好: できる。好=〈能〉 叫得应: 呼べば来てくれる。(可能補語を附加した用法。)</p>
53-6、7	<p>天天上班，<u>工</u>场间里常常谈论这</p>	<p>(毎日出勤時、下請工場では頻繁にこの話題を</p>

	<p>话题，看来上山下乡影响到了每一个家庭。</p> <p>工場间(gònzhāngàe)</p>	<p>語り論じている。農村への下放は、どの家庭にも影響を及ぼしているようだ。）</p> <p>工場间:下請工場。</p>
53-8~10	<p>“女儿学校里上门来动员了，”梁阿姨说，“我对他讲：你放心好了，我们不会去的。讲过一句再不和他罗嗦，让他一个人坐在房间里，横竖他也不会偷东西。他坐了一歇就走了。”</p> <p>讲(gān)</p> <p>横竖(hhuánsī)</p> <p>一歇(yìkxiik)</p>	<p>(「娘の学校の人がわざわざ家まで説得しに来た」と梁お婆さんは言った。「彼に、心配しないで、行かないからと、ひとこと言い、それ以上彼とくどくど話しをせず、部屋の中に座らせていた。どうせ物取りはしないので。彼は暫く居て帰って行ったわ」と言った。)</p> <p>讲:上記「50-25~27」に同じ。讲=〈说〉</p> <p>横竖:どうせ。横竖=〈反正〉</p> <p>一歇:しばらく。一歇=〈一会儿〉</p>
53-11~17	<p>“<u>侂因</u>也要分配，她姐姐刚去安徽，<u>学堂</u>里不好意思来动员，我不让她去，她和我吵，我说我养活你，你还有什么可吵的！”</p> <p>“跑得去插队落户，还是要养她。他们又养不活自己，反倒在火车票上贴掉钞票。”</p> <p>“在家里也不见得一生一世没有工作。上两届讲‘两丁抽一’，这两届一片红，<u>下头</u>两届又<u>不晓得</u>如何了。我们国家的政策<u>不过夜</u>，人就<b>不好太呆了</b>。”</p> <p>侂因(nínéu)</p> <p>学堂(hhokdhán)</p> <p>跑得去(bháodekqī)</p> <p>下头(hhódhòe)</p> <p>不晓得=勿晓得(věkxiāodek)</p> <p>不过夜=勿过夜(věkgūyhiá)</p> <p>不好=勿好(věkhāo)</p> <p>呆(gháe)</p>	<p>(「娘も職場への配属をしてもらわなければならないが、お姉ちゃんが安徽省へ行ったばかりで、学校側は説得しに来づらい。あの子を行かせたくないが、喧嘩を売ってくる。食べさせてあげるから、それでも喧嘩する理由があるか！と言ってやった。)</p> <p>「農村へ下放に行っても、あの子を食べさせなければならない。あの子たちは、自立することができないどころか、車代まで補助してあげなければならない。」</p> <p>「家にも、一生仕事が見つからないとは限らない。二年前の卒業生は“一家には二者択一”だったが、今年あたりの卒業生は全員農村行きとなった。来年以降の卒業生はどうなるかがまだ分からない。我が国の政策は一晩で変わるので、人は結融通がきかないとだめだ」と言った。</p> <p>侂因:私の娘。侂因=〈我女儿〉</p> <p>学堂:学校。学堂=〈学校〉</p> <p>跑得去:行く。跑得去=〈跑去〉</p> <p>钞票:お金。钞票=〈钱〉</p> <p>下头:次の方。下头=〈下面〉</p> <p>不晓得:知らない。不晓得=〈不知道〉</p> <p>不过夜:翌日まで持たないこと。</p> <p>不好:できない。不好=〈不能〉</p> <p>呆:融通がきかない。呆=〈呆板〉</p>
53-25	<p>“欧阳端丽，”梁阿姨叫她，“你家小孩挨着插队落户吧？”</p> <p>挨着(àzhèk)</p>	<p>(「欧陽端麗さん」と、梁お婆さんは彼女を呼び留めて、「お宅の子どもさんが、農村への下放が当たったの？」と聞いた。)</p> <p>挨着:順番が当たる。挨着=〈轮到〉</p>
54-1~4	<p>讲心里话，真不愿，她读书早，读的是五年制，现在十五足岁都</p>	<p>(本心ではとても手離したくない。あの子は、入学年齢が早かったし、5年制の学校に通ったため、</p>

	<p>不到。但是我们家这个成分恐怕赖不下去。端丽忧心忡忡。</p> <p>“有<u>啥</u>赖不下去？你<u>怕</u>啥？插队落户么最<u>推扳</u>了，再坏也坏不到哪里去了。”</p> <p>“到时候再<u>讲</u>了。”端丽说，心里却好像定了许多。</p> <p>讲(gān) 有<u>啥</u>(sā) 怕<u>啥</u>(pōsā) 推<u>扳</u>(tāebāe)</p>	<p>まだ満 15 歳になっていない。しかし、我が家のような出身の子どもは恐らく凶太く腰を据えて下放へ行かなければ駄目でしょうと、端麗はとても心配でたまらなかった。</p> <p>「凶太く腰を据えることができないことはない。なにかを恐れることがあるのか。農村への下放は一番悪い配属であり、これ以上悪い配属はないものだ。」</p> <p>「その時になればその時考えましょう」と、端麗は言ってから、気持ちが大きいに穏やかになったようだ。</p> <p>讲: 上記「50-25~27」に同じ。話す。讲 = 〈说〉 有<u>啥</u>: 何かあるのか。有<u>啥</u> = 〈有什么〉 怕<u>啥</u>: 何かを恐れているのか。怕<u>啥</u> = 〈怕什么〉 推<u>扳</u>: 劣る。推<u>扳</u> = 〈差〉</p>
55-2~4	<p>端丽火了，一下子从板凳上跳起来：“多多的出身不好，是她爷爷的事，就算她父亲有责任，也轮不到她<u>孙凶</u>辈。党的政策不是重在表现吗？”</p> <p>孙凶(sènnéu)</p>	<p>(端麗はかつとなって、いきなり腰掛から立ち上がって、「多多的出身が悪いのは、あの子の祖父のことであり、たとえあの子の父親に責任があるにしても、孫娘には責任がない。共産党の政策は言動を重視するのではないのでしょうか?」と言った。)</p> <p>孙凶: 孫娘。孙凶 = 〈孙女〉</p>
55-10~16	<p>多多冲着妈妈说：“什么什么呀！你们这样对待工宣队，我要倒霉的。”</p> <p>“倒什么霉？最最<u>推扳</u>就是插队落户了，再坏能坏到哪里去？”</p> <p>文耀抱着胳膊看着她，摇着头说：“真凶啊！怎么变得这么凶，像个<u>买小菜阿姨</u>。”</p> <p>“都是<u>工场间</u>里听来的<u>闲话</u>，”多多嘀咕，“真野蛮！”</p> <p>推扳(tāebāe) 买小菜阿姨(máxiāocāe' akyí) 工场间(gònzhāngàe) 闲话(hháehhó)</p>	<p>(多多はお母さんに向かってぷりぷりして、「何か何なの！このように労働者の毛沢東思想宣伝隊の隊員に対応したら、私が不運な目に合ってしまう」と言った。</p> <p>「何が不運な目に合うものか？一番悪い配属は農村への下放なのだ。これ以上不運なことはあるものか？」</p> <p>文耀は両腕を抱えて妻を見詰めながら頭を左右に振って、「きつい！何でこんなにきつくなったの？お手伝いさんのようだ」と言った。</p> <p>「すべて下請工場から聞いてきた話した」と、多多は続けて、「乱暴すぎる」とぶつぶつ言った。)</p> <p>推扳: 上記「54-1~4」に同じ。推扳 = 〈差〉 买小菜阿姨: お手伝いさん。 买小菜阿姨 = 〈保姆〉 工场间: 上記「53-6、7」に同じ。 闲话: 話し。(上海語では、「世間話」などという時にも使われているが、ここでは「話し」という意味。)</p> <p>闲话 = 〈话〉</p>
55-22~56-3	<p>多多从来没见过妈妈这么有主意，这么强硬。心里倒也安定了，<u>太平</u>了许多。整天在家买菜，<u>烧</u></p>	<p>(多多は今まで、お母さんがこんなにもしっかりした主張を持っており、こんなにも強い姿を見たことがなかった。そのため気持ちに落ち着きが戻り、</p>

	<p>饭，管理弟弟妹妹，她分担了妈妈很多劳动，使妈妈在<u>工场间</u>工作得很安心，很好，常常受到表扬，每月总可有四十元上下的收入。</p> <p>太平(tāphín) 烧饭(sàovái) 工场间(gònzhángàe)</p>	<p>平穩な暮らしができるようになった。彼女は、一日中、家で食材を買ったり、ご飯を作ったり、弟や妹の世話をし、お母さんの多くの家事を分担した。そのため、お母さんは下請工場でかなり安心して仕事ができ、成績が良かったので、よく褒められて、毎月四十元位の収入を得ることができるようになった。)</p> <p>太平:平穩である。太平＝〈平安〉 烧饭:上記「50-18、19」に同じ。烧饭＝〈做饭〉 工场间:上記「53-6、7」に同じ。</p>
56-15、16	<p>正巧是星期天，端丽想方设法弄了一桌<u>小菜</u>待客。</p> <p>婆婆对小伙子还满意，公公只轻声说了声“<u>粗坯</u>”，也没发表不同意见，文耀和端丽自然也不能有意见。</p> <p>小菜(xiǎocāe) 粗坯(cùpài)</p>	<p>(丁度日曜日であり、端麗は何とかして一卓の料理を手配してお客さんをもてなすことにした。義母は若者に対してまあまあ気にいっているが、義父は小声で、“野暮ったい人”と言っただけで、みんなと異なったことは言わなかった。文耀と端麗も当然不満があつてはならなかった。)</p> <p>小菜:お菜。小菜＝〈菜〉 粗坯:野暮ったい人。粗坯＝〈粗人〉</p>
56-26、27	<p>多多笑得眼泪都掉下来了，咪咪捂着肚子蹲在地上。</p> <p>“<u>发什么人</u>来疯！没有规矩。”端丽斥责道。”</p> <p>发人来疯(faknínláefòn)</p>	<p>(多多は涙が流れてくるほど笑い、咪咪はお腹を抱えてしゃがんでいた。</p> <p>「お客さんが来たのではしゃいだりするんじゃない！行儀が悪いよ」と、端麗が厳しく叱った。)</p> <p>发人来疯:子どもが客が見えた際はしゃいだりする時に使われる言葉。(上海語では、よく子どもを「人来疯」と叱る。)</p>
57-25	<p>她知道婆婆要和客人正式谈判了，自己也<u>识相</u>地走出去带上门。</p> <p>识相(sekxiàn)</p>	<p>(彼女は、義母がお客さんと正式に話し合おうとするのを知っていたので、気を利かせて、そっとドアを閉めて外へ出た。)</p> <p>识相:気を利かせる。识相＝〈知趣〉</p>
57-15	<p>“阿娘，<u>吃茶</u>。”</p> <p>吃茶(cikchó)</p>	<p>(「お母様、お茶を飲んで下さい。)」</p> <p>吃茶:お茶を飲む。吃茶＝〈喝茶〉</p>
58-20～27	<p>“端丽，<u>做啥</u>？”婆婆过来了，奇怪地瞅着她。</p> <p>“<u>姆妈</u>，你来。”端丽转过身，不由分说地拉住婆婆的手，走到厨房，关上了门。</p> <p>“<u>啥事体</u>？端丽。”婆婆莫名其妙。</p> <p>“这门亲算了吧！嫁过去，对谁也不会有好处。”端丽压低声音急急地说，“且不说结了婚，妹妹的病不一定能好。那里虽是<u>姆妈</u>你的老家，可那么多年不走动，</p>	<p>(「端麗さん、なに？」と義母がこちらにやって来て、不思議そうに彼女を見ている。</p> <p>「お母さん、こちらにいらして下さい」と、端麗はぐるりと向きを変えて、有無を言わせないようにして義母の手を引っ張って、台所へ入り、ドアを閉めた。</p> <p>「何事ですか？端麗さん」と、義母は訳も分からなかった。</p> <p>「この婚姻はよしにしましょう。向こうへ嫁いで行っても誰にとっても良くない。」端麗は声を低めてさっと、「結婚しても義妹の病気が治るとは限らない。向こうはお母さんの実家とはいえ、長い間お</p>

	人地生疏，妹妹在那里举目无亲。 ……” 做啥(zūsā) 姆妈(m< I 声>mà) 啥事体(sāzhítī)	付き合いがなかったし、不案内な土地だから、義妹がそちらで暮すとなればよるすべがありません。…」と言った。 做啥: 上記「51-25～52-3」に同じ。 做啥=〈干什么〉 姆妈: 上記「50-6」に同じ。姆妈=〈妈妈〉 啥事体: 何の用。啥事体=〈什么事〉
59-5、6	“姆妈，你听我一句话，我和文影虽不是亲姐妹，但我决不会为她坏的。她的病不能再耽误了，要看病。”端丽恳切地说。 姆妈(m< I 声>mà)	(「お母さん、話しをお聞き下さい。文影とは本当の姉妹ではないが、彼女に不利なことは絶対しません。彼女の病気はこれ以上遅らせることはできません。診てもらわなければなりません」と、端麗はねんごろに話した。) 姆妈: 上記「50-6」に同じ。姆妈=〈妈妈〉
59-11、12	工厂间的阿姨虽粗鲁，却很热心，热心中掺了点好奇。 工厂间(gònzhángài)	(下請工場のおばさんはぶっきらぼうではあるが、親切だ。その親切の中に少し好奇心が滲ませていた。) 工厂间: 上記「53-6、7」に同じ。
59-22、23	“这里倒蛮静的。好好休息，什么也别管，下午，我和姆妈就来看你。” 蛮静(màejhín) 姆妈(m< I 声>mà)	(「こちらはとても静かですね。よく休んで、何もなくても良い。午後、すぐお母さんと一緒にお見舞いに来るからね。)」 蛮静: とても静かである。蛮静=〈非常安静〉 姆妈: 上記「50-6」に同じ。姆妈=〈妈妈〉
60-11、12	她这么认为，更加觉得把文影送进去是桩错误了。 桩(zàn)	(彼女はこのような思っているので、文影を入院させたのは間違っていたと一層思うようになった。) 桩: 事柄を数える助数詞。桩=〈件〉
61-8、9	“让二弟去吧！他在家横竖没事，并且又是出过门的人，总有数些。”文耀提议。 横竖(hhuánsī)	(「二番目の弟を行かせましょう。彼はどうせ家にもやることがない上、家を離れて遠方へ行ったことがあるので、やり方がちゃんと分かっているから」と、文耀は提案した。) 横竖: どうせ。横竖=〈反正〉
61-17	“我和乡下人打不来交道，弄不好就把事办糟了。” 打交道(dānjiàodháo)	(「僕は田舎の人との交渉ができないので、下手をすればこの件をやりそこねてしまう。)」 打交道: 交渉する。(「打不来交道」は、【打勿来交道 dānwùkláejìàodháo】とも言い、可能補語を附加した用法。)打不来交道=〈不会打交道〉
61-23、24	端丽又好气又好笑，看不下去了，说：“看来，只有我去了。” “你一个女人家，跑外码头，能行吗？”婆婆犹豫着。 女人家(nū< III 声>nínkà) 外码头(ngámódhóe)	(端麗は腹が立つやらおかしいやら、見ていられなくなり、「そうすれば、私が行くしか仕方がないようですね」と言った。 「女の人が一人で他県へ行くなんて、大丈夫ですか？」と、義母は躊躇している。) 女人家: 女性。女人家=〈女人〉 外码头: よその土地。 外码头=〈外地〉

**【参考資料】**

「日本語」

榎本英雄／范晓 著『エクスプレス上海語』(白水社)1996年4月5日第6刷

宮田一郎 編著『上海語常用同音字典』光生館出版、昭和63年9月10日初版発行

「中文」

阮恒輝 著『上海話教程』上海辭書出版社、2014年8月

錢乃榮 編著『上海話大詞典』上海辭書出版社、2008年4月第5版

丁迪蒙 著『学説上海話』上海科技文献出版社、2015年1月第2版

**【参考文献】**

張新穎、金理 編『王安憶研究資料』(上)(下)天津人民出版社、1996年

「王安憶作品」

『海上繁華夢』王安憶自選集之一・中篇小説卷、作家出版社、1996年